

山形県村山エリア

素材研究
(国内)



開湯1900年という歴史を誇る蔵王温泉



昨年10月、旧境内が国史跡に指定された慈恩寺(寒河江市)



宮城県と山形県を隔てる蔵王連峰の五色岳にある火山湖「御釜」



松尾芭蕉の句「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」でも知られる「山寺」立石寺

吉野石膏コレクションのフランス近代絵画を常設展示で公開している山形美術館



ポストDCは、県民総参加・全産業参加で、昨冬に続いて3美術館めぐる「YAMAコレ2」実施

山形県では昨年実施された「ステイナード」キャンペーンに続いて、県内各地で、県民総参加・全産業参加の浸透を目指す「ポストDC」の取り組みが進められています。

割引共通チケットで入館者数が倍以上に

山形市や天童市などがある山形県村山エリアでは、8月23日までの約1カ月半にわたり、「YAMAコレ2」やまがた夏の3美術館めぐりが実施されています。

やまがた広域観光協議会事務局・村山総合支庁観光振興室が実施主体となり、7月3日からスタートした企画は、山形美術館と山寺後藤美術館、広重美術館の3美術館を回る割引共通チケットを販売し、各美術館毎に絵葉書をプレゼントするほか、3館すべてで鑑賞した場合には、県産品カタログギフトや「県産米セット」なども抽選で当たります。

村山総合支庁観光振興室の武田剛室長によると、山形市周辺には世界的に評価の高い名画が数多く所蔵されており、「これらの収蔵品を美術館とやまがた広域観光協議会などが連携して、同時期に」斉に公開する企画を「YAMAコレ」を名付けた「(武田室長)ものです。県内外からの旅行者誘致を目指した「YAMAコレ」は昨年

12月から今年2月にかけて初めて開催され、期間中における3美術館の入館者数は5887人に達し、前年同期比127.6%増という倍以上の伸びを示しました。

旅行会社と共に来県者増やす取り組みを

「YAMAコレ2」では、地元タクシー会社によるタクシープランの運行という新たな取り組みが加わったほか、「日帰りプラン」や「1泊2日プラン」など、公共交通機関を利用したコースも紹介されています。

山形県では昨年6月から9月まで「山形DC」が実施されており、「YAMAコレ」はやまがた広域観光協議会における「ポストDC」の環となるもので、「出羽名刹三寺まわり2015」や「産業観光/メイドイン・ヤマガタとの出会い」週末は山形で農園ランチなども同時進行で展開されている。(武田室長)

県民に浸透しつつある、県民総参加・全産業参加をさらに広げていくことを目指す「ポストDC」の中で、美術館や全山形県本部、運輸機関などの協力も実現した「YAMAコレ」は、「全産業参加」の成功事例となっています。

「美術館の割引共通チケットも旅行会社に販売してもらえませんが、他の様々な企画も通年・恒常化を図って、各地から山形に来てもらえるような取り組みを、ぜひ旅行会社と一緒に進めていきたい」(武田室長)